



『連合アクション！街頭行動』の取り組み



働き方改革の推進、格差是正、過労死防止啓発に取り組む



挨拶する連合福島 今野会長

連合福島は、11月25日(木)の夕方、通勤者の帰宅時間帯の17:30～ 福島駅東口旧中合前において「連合アクション！街頭行動」を実施した。

年末を控え、コロナ感染拡大の影響や混乱する経済状況に伴い悪化する労働環境を踏まえ、働き方改革の推進、格差是正、そして11月は過労死防止啓発月間の下での取り組みとなった。

特に長時間労働是正をアピールをしながら、「なんでも労働相談ダイヤル」「メンタルカウンセリング」の周知と浸透に努めた。今回は、コロナ感染防止も踏まえ必要最低限の参加人数に絞り、福島地区連合の協力も得、取り組んだ。

冒頭、連合福島を代表し今野 泰会長は、『コロナ感染拡大は収束の兆しを見せてはいるものの、未だ企業を始めとした経済活動、そして、私達の日常生活の回復、改善にまでは至っていない。

また、直近では海外からの部品供給が停滞し、製造業を中心に操業停止や生産調整を余儀なくされ、加えて、原油価格の高騰・円安による影響がより状況を悪化させている。

今後、第6波も懸念される中、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、国民の生活維持・向上を図るため労働組合が前に出て、こうした社会・経済の構造的な問題解決を図る「けん引役」を果たす取り組みを進めていく。是非、労働相談ダイヤルを活用いただきたい。』と挨拶した。

最後に、連合福島・高原 英二副会長より連合福島の取り組みをアピールし、街頭行動を打ち上げた。街頭では、感染防止上から十分なソーシャルディスタンスを確保、ビニール手袋をしチラシを配るなど通行される市民に訴えた。立ち止まって聴講される方もあり、関心の高さが感じられた。



高原英二副会長の取り組みアピール



しっかりと感染防止対策しチラシ配布